

アグリフローの設置記録 (殺菌 No.7-1) ＜養魚場の海水殺菌の例＞

アグリフロー：UV 処理に対する他の殺菌技術



魚類の養殖は、地上の食文化の重要な一部であります。その地域の環境保護の厳しい基準をクリアしつつ、現代的な養殖場として、良質な魚類の供給をしなければなりません。世界中の養殖場のように、イタリアの或る都市では新鮮な海水での養殖場では、バクテリアとウイルス対策を有意義に行うことに直面いたしました。

既に殺菌のために UV ランプシステムが採用されておりました。然し、そのシステムは問題を完全に解決できず、すなわち UV ライトは海水の濁りの中を通過することができず、殺菌効果が

低下する事でした。UV システムは大変高価で、定期メンテナンスとスペア部品の交換費用が必要で、その上毎月のランニングコストの電気代が 1100 ユーロ (¥121,000) もかかっておりました。従ってこの養殖場のオーナーは UV システムより、もう少し良い装置又は技術を探しておりました。その結果、ハイドロパス社のアグリフローの採用を決定しました。その結果はバクテリアとウイルスの問題をうまくコントロールでき、更にそのランニングコストは驚くべき安さであった。(25～65w/h)

アグリフロー 2 台は大きい水槽よりの 2 台のポンプの吐出側でフィルター前に設置され、そこから 6 ヶ所の大きな魚の孵化場へ循環しているラインに設置されました。

更に 6 ヶ所の卵をかえすタンクがあり、そこには開放の循環水系になっており、2 台のアグリフローをフィルターの前と後に 2 台設置した。これはフィルターに付着した粒子を落ちやすくし、バクテリア及び微生物を殺すためのタンク上に組立てられたものです。

また、メインホール的大型水槽には大変大型の (10 インチ・300A) のものが必要であり、アグリフローカスタム型が 300A 用 2 台設置されました。設置場所は 2 台の大型サンドフィルターの入口と出口の所に夫々設置しました。この様に我が国の養魚場の海水殺菌としてアグリフローの利用が盛んになると思います。